

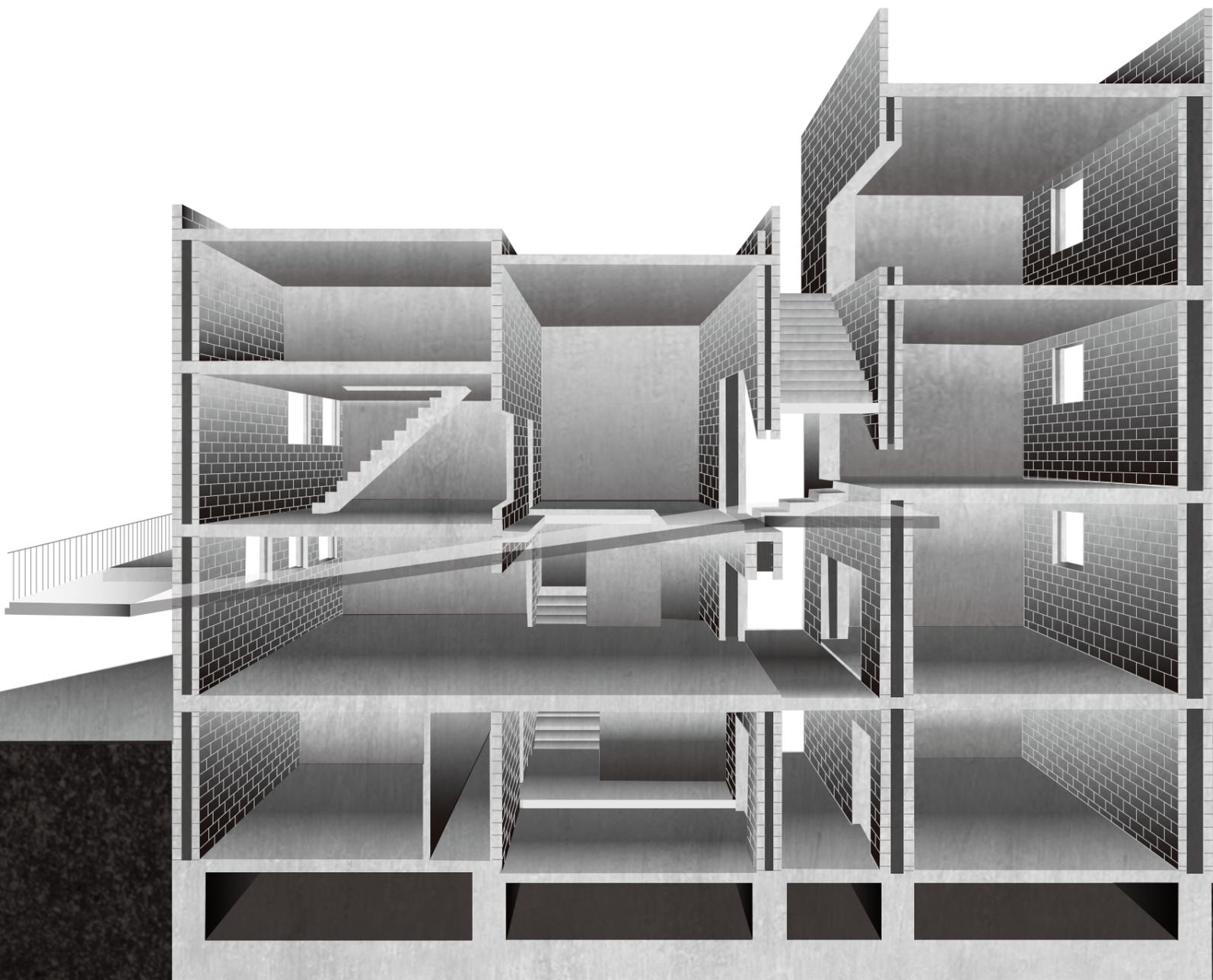
RM 開放の立体構築

コンクリートブロック製造会社のオフィスビルである。

臥梁までブロックで構成でき、純粋にブロックの量感を表現できる「鉄筋コンクリート組積造」(RM造)で作る事にした。しかし、壁を構造の核とするため、閉鎖的な建築に陥りがちだ。この制約を越えることができれば、中で過ごす人々と建築の関係がより自由になるのではないかと考えた。

そこで RM 造の基本的な構造区画(以下 ユニットと呼ぶ)に大開口を設け、スロープで結び、平面や上下、内外の開放を試みている。すると、額縁のように残る梁や壁、スラブはユニット間に適当な距離を与え、無制限の開放とは異なった序列的開放があらわれた。複数の額縁の重なりは多くの視点を生み、そこで活動する人々の視線を多方面へ広げる。それはひとまとまりの空間各所を緩やかに結び付ける包容力となった。

本件はメーカー、設計者、施工者が連携したプロジェクトであり RM 造の可能性の探求はこれからも続く。



主要用途：事務所 / 建設予定地：大阪府
茨木市 / 施主名：株式会社マツオコーポ
レーション / 工事予定期間：2021.12-
2023.10 / 主要構造形式：鉄筋コンクリート
組積造 (RM造) / 主要仕上材料：型枠状
コンクリートブロック (RMユニット)
敷地面積 183.64 m² / 延床面積 581.82 m²